

令和3年度サマースクールについて

高等部

高等部は、8月2日（月）に寄宿舍娯楽室で実施しました。猛暑にもかかわらず、他校から23名の生徒が参加し、5つのグループに分かれて「シュレッダーごみのリサイクル」や「液体窒素の実験」を行ったりするなどして、有意義に過ごすことができました。各グループでの学校案内においても、本校生徒がタブレット端末を用いてやり取りを工夫しながら案内しようと努める場面が見られました。

終了後、他校生に提出してもらったアンケートによれば、手話を楽しく学ぶ機会が欲しい、スポーツ交流がしたい等といった提案があり、可能な限り少しでも次年度に取り入れることができればと思います。

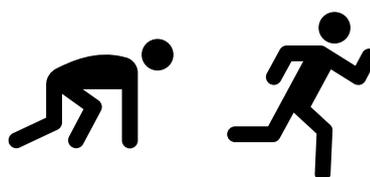


中学部



今年度のサマースクールは、2017年夏季デフリンピック日本代表の谷岡真帆さんをお招きし、「スタートランプ」について体験を行いました。学習内容は次のとおりです。

- (1) デフリンピックの説明
- (2) ウォーミングアップ
- (3) スタートランプの体験
- (4) スタートランプを使用した競争



生徒たちは体育館でデフリンピックの説明を聞き、デフリンピックの歴史やロゴマークについて知りました。そのあと運動場に移動し、座りながらのウォーミングアップを行い、さらにスタートランプの体験を行いました。色の変化によって、準備からのスタートを行いました。今回の体験を機として、デフリンピックについて、深く学ぶことができました。



小学部

今年度のサマースクールは、本校4名、他校14名の参加がありました。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりましたが、今年度は無事開催することができました。久しぶりの再会に、うれしそうな会話や表情が見られました。

自己紹介では、緊張した様子も見られましたが、名前と好きなものを全員が言いました。友達の好きなものに、大きくうなずいたり、微笑んだりする子もいました。今年は、小学生だけでなく、南予から高校生3名が参加してくれました。

まずは、みんなと仲良くなるための遊びをしました。「バースデーチェーン」は、声を出さず、1月生まれから順に円に並びます。手話や身振りなどで、自分の誕生日を知らせたり、相手に誕生日を聞いたりしました。コミュニケーションをとりながら、全員で協力して、やっと一つの輪に。やったー！バースデーチェーンがつながりました！

次は「ジェスチャーゲーム」。カードに書かれたお題の動きをして、みんなに当ててもらいます。大きな動きで表したり、特徴を捉えて表現したりするなど、みんなに伝えるためにいろいろな工夫が見られました。高校生や引率の先生もジェスチャーをして、盛り上げてくれました。

他にも、「カードひっくり返しゲーム」や「伝言ゲーム」などを行い、盛り沢山の活動となりました。暑い中でしたが、子どもたちの笑顔がたくさん見られた時間でした。御参加いただいた皆様、ありがとうございました。来年度もお待ちしております。



幼稚部



今年度は13人のお友達が参加しました。始めの会では、名前を呼ばれると、恥ずかしそうにお母さんと一緒に返事していた子も、準備体操でエビカニクスのダンスが始まると、ノリノリで踊っていました。

水遊びでは、プールやウォーターライダー、金魚すくい、石けん遊び、色水遊び、シャボン玉などで遊びました。いろいろなコーナーを巡ったり、お気に入りの遊びを見付けたりして、時間いっぱい楽しめました。

その後は、スイカ割りをしたり、かき氷を食べたりしました。冷たくて、甘いスイカやかき氷に、みんな笑顔になっていました。

楽しいことが盛りだくさんのサマースクールでした。また、みんなで遊びましょう！



伊予市で『咲む』上映会、12月に延期。

伊予市での上映会が予定されています。新型コロナウイルス感染防止のため12月に延期となりました。会場、時間等については変更ありません。

日 時 2021年12月25日(土)

開演時間 ①14:00～ ②18:00～

会 場 IYO 夢みらい館文化ホール

主催団体 伊予市『咲む』を観る会実行委員会

TEL/FAX 089-982-2853

メール info.watch.iyo@gmail.com

※当日券はありません。

前売チケットは、伊予市の手づくり交流市場「町家」で取扱中。



作品情報

かつて「花の町」といわれた限界集落到咲みをもたらした一人のろう女性の物語。全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画。みみちゃん99号に、あらすじを掲載しています。さらに知りたい方は、ネタバレになりますが、書籍も出ています。

原作：早瀬憲太郎 文：広緒恵利子
監修：全日本ろうあ連盟 出版：汐文社

9月23日は、「手話言語の国際デー」

「9月23日」は、2017年の国連総会で「手話言語の国際デー」とすることが決議されました。これより前の2006年に制定された「障害者の権利に関する条約」では、手話の使用と促進が促されました。手話言語が音声言語と対等であること、ろう者の人権や言語的アイデンティティを十分に尊重・保障することや社会で手話言語についての意識を高め使用し、アクセスしやすくしていくことなどが盛り込まれています。

こうした目標を再認識するために、9月23日を「手話言語の国際デー」として定めてお祝いすることになっています。9月の最後の1週間は「国際ろう者週間」でもあります。

これを機に、日本では「手話言語条例」が各地で準備、制定されている動きもあるということに、注視してほしいと思います。また、聾学校やそれぞれの地域社会やコミュニティで手話学習が進み、聞こえない方々の言語や文化が尊重されているか、あらためて見直す機会にしたいものです。

毎年、国際週間と国際デーに合わせて、テーマが出されます。

「2021 国際ろう者週間」9月20日～26日
テーマ「ろうコミュニティの繁栄を祝って」

「2021 手話言語の国際デー」9月23日
テーマ「私たちが手話をするのは人権である」



INTERNATIONAL WEEK
OF DEAF PEOPLE



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

スポーツで活躍中の聴覚障がい者紹介！！

いまい らいむ
今井 礼夢(16)

元 SPEED のメンバーで現在参議院議員である今井絵理子さんの息子さんです。聾学校卒業して高校へ進まず、プロレスの道でデビュー。この夏、初勝利を挙げました。



プロレス



相撲

さわやか かおる
爽 薫(21)

聾学校卒業後、大好きな相撲の道に進みました。式秀部屋で5年目です。現在、三段目に登り自己最高九十六枚目の力士です。土俵外では補聴器をしています。



ふるみや はる
古宮 晴(18)

プロのK-1の道に進み2年目。試合終了のゴングが鳴り、ジャッジの時には、耳に補聴器が着いています。同じ難聴の子どもたちに勇気と希望を与えるよう頑張りたいとインタビューでも答えています。



愛媛県聴覚障害者協会女子バレーボール部

活動場所・・・道後身障者センター、今治サンアビリティーズなど

会員数・・・6人

チームからのメッセージ

毎週土曜日の夜、松山市や今治市の体育館で年に1～2回ある大会に向けて練習をしています。今は、部員が少ないですが、集まったメンバーで練習を頑張っています。興味のある方、年齢は問いません。

選手、スタッフ、どちらも大歓迎です！！

まずは、見学からでもOKです。

私たちと一緒にバレーを楽しみませんか。



代表者及び連絡先

水田直美 (愛媛県立しげのぶ特別支援学校勤務)

090-6881-3410 E-mail:n.mizu0204@gmail.com